

イチオン 地球環境を考える学習はいかが!!

海岸の漂流物を観察し SDGs を学ぶ

7月からレジ袋が有料化され、この機会にプラスチックごみに考えてみませんか。男鹿半島の安田海岸では様々な団体が地層の学習をしていますが、海岸で目立つのは打ち上げられたごみの多さです。ごみを観察するとその種類は様々です。中でも多いのはプラスチックのごみです。中でも最近、問題化しているのはマイクロプラスチックのごみです。これらの海の漂流物はこの後、どこに行くのか、そして生物にどのような影響が出るのか、またごみを減らすにはどのようなことが考えられるのかについて SDGs(持続可能な開発目標)と併せてみんなで考えてみましょう。現在、ジオパーク学習センターでは地球環境を考える動きに合わせ「安田海岸のごみと地球環境」をテーマにミニ展示をしています。関心のある方向けにセンターではその内容をまとめたパワーポイントも用意していますので、見たい方は説明員にお声がけください。



学校教育 理科・社会・総合的学習から防災学習まで ～体験学習で楽しく学ぶ幼児教育も～

ジオパーク学習センターには、学校の授業に合わせて理科、社会、総合的な学習、防災学習など学年を問わず多くの小学校や中学校が来館しています。その多くはジオパーク学習センターで学んだ後、安田海岸や寒風山などで現地観察し学習をより深めるスケジュールです。学校教育関連では学習センターの説明員が同行します。また雨天時は学習センターで安田海岸などのバーチャル体験学習ができます。最近では保育園で貝殻や岩石を材料にした体験学習を目的に来館する事例も増えてきました。体験学習教材も多数ありますので、お気軽にご相談ください。団体の場合は予約をお願いします。



新しい教材 「クジラ類の頭骨標本」観察

男鹿半島のジオサイト・安田海岸で、9月にクジラ類とみられる頭骨を収集しましたので除菌した後で教材として活用することにしました。現生のクジラは大きくはハクジラとヒゲクジラに分けられ頭蓋骨に違いがあります。標本を観察するとともに併せてクジラ類の進化や海洋の環境についても考えます。男鹿半島では鶴ノ崎海岸でもコンクリーションからヒゲクジラ類の化石が見つかっています。



check ジオパーク学習センターでは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、説明員はマスクを着用しています。また入り口にはハンド用消毒液を用意しています。